

【事業者向け】児童発達支援自己評価表

公表年月2024年3月
事業所名：ピノピノランド吉川

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			日常での全員で行う運動プログラムや体を使った遊び、またイベント開催時にも十分なスペースは確保できております。
	2 職員の配置数は適切である	○			児童発達支援の時間のスタッフ体制は、お子様全員に目が届くような人数配置を心がけております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		トイレトレーニング中のお子様安心して行えるよう、トイレ内の手すりの設置も検討してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○		朝と夕方の室内全体の換気及び活動中の換気窓の開放、温湿計の設置と加湿機能付きの空気清浄機の設置で感染症対策に努めております。 午前中は室内の寒さが厳しいので、エアコンの温度調節など配慮してまいります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		○		新しいスタッフとも情報を共有して改善につなげるよう努めております。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今回の評価表だけではなく、日々保護者様からいただいたご意見をスタッフで共有し、業務の見直しに努めてまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公表いたします (http://www.lankuuno.jp/)
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	今後必要に応じて法人として導入を検討してまいります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		毎月の事業所内ミーティングだけではなく、外部での研修にも参加して学ぶ時間を増やすよう努めてまいります。 今年度はスタッフが県主催のSST研修に参加しております。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			お子様の課題をミーティング時にスタッフ全員で話し合い共有することでお子様の様子や保護者様のニーズに沿った計画を作成できるよう努めてまいります。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		STやOTなどの専門職も配置できるよう努めてまいります。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			児発管が保護者様との面談時の内容をもとに支援計画を立て、スタッフ内で共有し、様々な視点を反映した上でお子様個人に合った支援計画作りを努めております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			事業所内ミーティングで計画内容の更新児童についての情報を共有し、児童発達支援計画に沿った支援ができるように努めております。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			朝のミーティングと事業所内ミーティングで日々の活動と月ごとのイベントなどのプログラムを確認・共有しております。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			天気の良い日はお散歩など室外でのプログラムも取り入れております。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			感触遊びや粘土などの座って学ぶ時間と外遊び、また雨天時には室内で運動する時間も設けるなど様々なプログラムを行っております。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝のミーティングで申し送りなどを行い、情報共有に努めております。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			夕方のミーティングでその日の振り返りを行い、共有すべき情報は業務日誌に記入してその日いなかった職員にも把握できるようにしております。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			保護者様からの連絡帳に記入された内容を共有し、業務日誌に必要事項を書いてスタッフ内で情報を共有しております。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			担当者だけではなく、日々スタッフ内で気付いた点をミーティングなどで共有し、改善に努めております。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			管理者または児発管が出席しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			発達支援センターや相談員さんと相談、連携しております。保護者様からの要望があれば他の機関とも連携を出来るように努めてまいります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			○	医療ケアが必要な利用者が現在在籍しておりませんが、今後受け入れる場合は十分な連携体制を整えてまいります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			○	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		幼稚園や保育園などに在籍している児童の保護者様と相談し、必要であれば情報共有を行ってまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			相談支援専門員さんとの情報共有や保護者の方との面談の内容をもとに、小学校入学の不安が少なくなるよう保護者様とお子様の気持ちに寄り添った支援に努めております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			発達支援センターや相談支援専門員との情報共有など、電話などで情報を共有しておりますが、今後も外部施設との連携に努めてまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		外遊びやお散歩時に挨拶や一緒遊ぶなど関われる機会がありますが、今後検討してまいります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			○	今後参加のお知らせなどをいただく機会がありましたら参加させていただきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や送迎時、また面談などの時間を通して情報を共有する機会を設けております。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			連絡帳の様式を変更したので、ご家庭での様子も共有できるようになりました。保護者様のお気持ちに寄り添っていけるよう今後も努めてまいります。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に丁寧に説明して理解いただけるよう努めております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			様々なことを吸収し、成長されているたくさんの可能性を持っている年齢のお子様と関わる立場であることをスタッフが自覚し、保護者様からの要望に沿った支援計画ができるよう努めております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			面談や送迎時、連絡帳などを通して直接的なやりとりと間接的なやりとりとの両方で保護者様と信頼関係を築いていけるよう努めております。また、朝の来所時や日頃の活動時などにいつもと違う様子が見られたらこちらからお声がけすることで相談しやすい雰囲気作りに努めております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	感染症対策も鑑みなが、今後保護者会などの開催も企画してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			連絡帳だけではなく、送迎時や面談・電話などでご心配なことなどの相談を受けられる時間を設け、保護者様の気持ちに寄り添っていけるよう努めております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			イベント後にブログ更新するようしております。また会報も定期的な発行を心がけてまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			事業所内ミーティングで個人情報の取り扱いについてスタッフ内で共有しております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			連絡帳や送迎時に保護者との情報共有に努めております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		散歩時に挨拶など地域の方へ積極的に声かけするようにしています。また、夏祭りの和太鼓演奏開催時には近隣住宅へお知らせのお便りを配布し、それを見てお孫さんを連れて事業所に顔を出してくださったご近所の方もいらっしゃいました。今後も地域との交流の機会作りに努めてまいります。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		未就学児にも訓練に参加していただけるよう訓練の日時を検討してまいります。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年2回避難訓練を行っております。今後は児童発達支援の活動時間内での避難訓練について学ぶ機会も検討してまいります。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		○		ご契約時の保護者様からの申告以降も随時情報を共有できるよう努めてまいります。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		ご契約時の保護者様からの申告以降も随時情報を共有できるよう努めてまいります。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			職員全員で把握するよう事業所内ミーティングなどで時間を設けて共有できるよう努めております。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			事業所内ミーティングでの虐待防止研修やチェックシートなど職員全員で確認を行っております。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			現在対象となる児童が在籍しておりませんが、今後もし想定される事態がありましたら保護者様への説明と了承を得た上で行ってまいります。